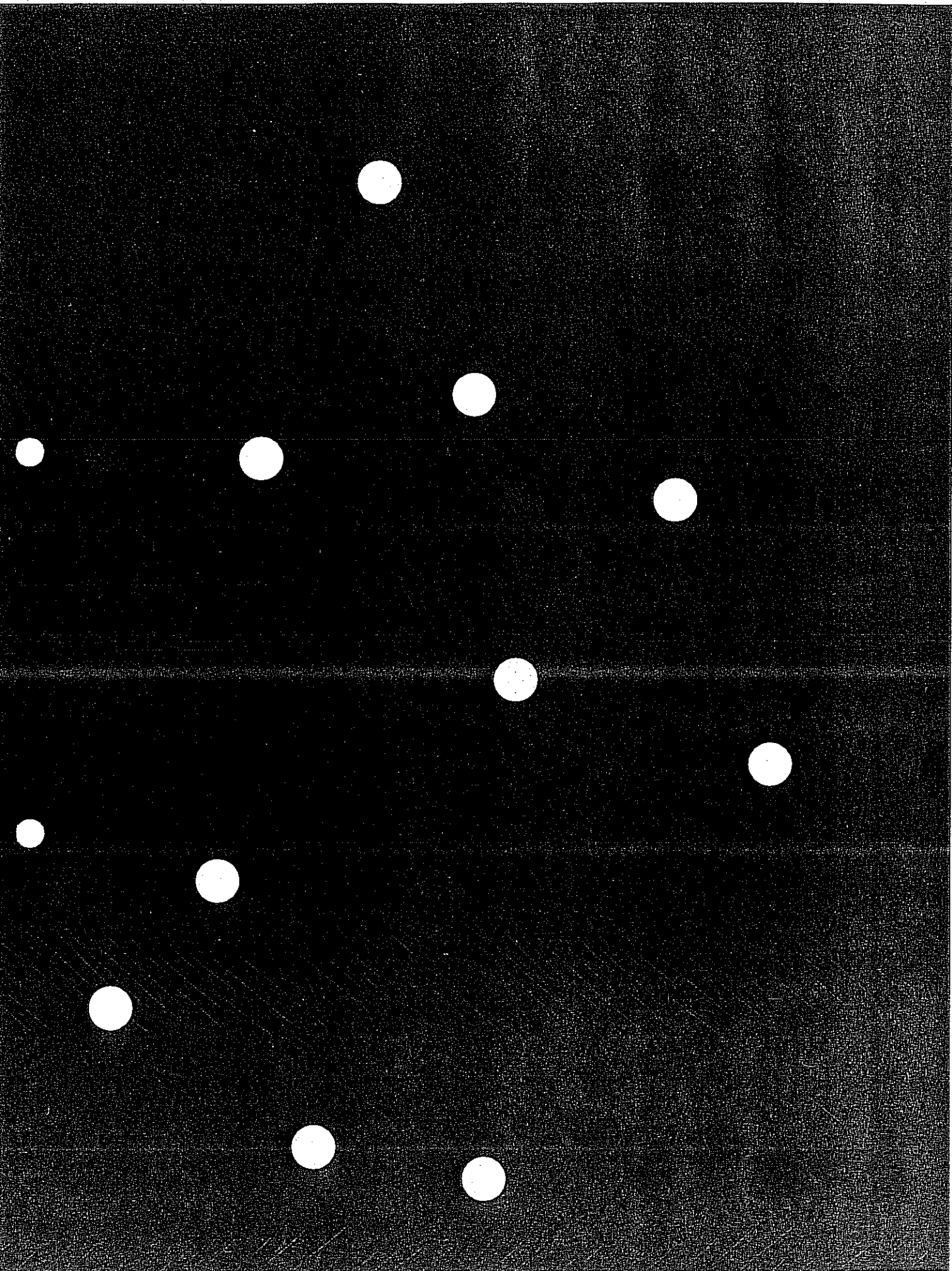


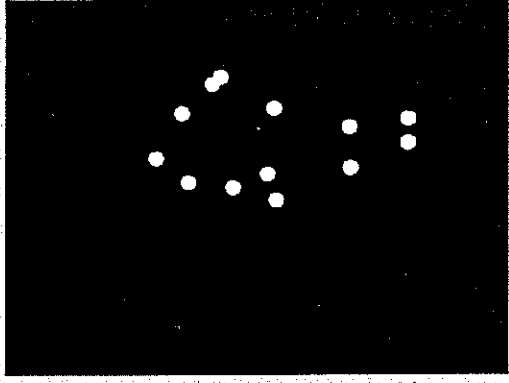
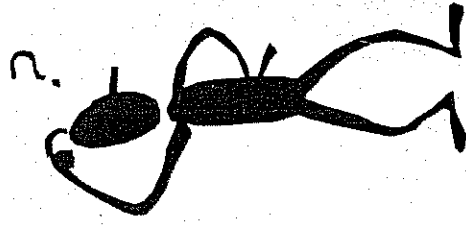
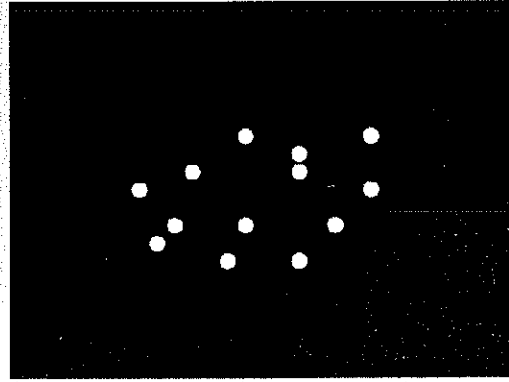
TEST



15-10=(5) VS 10



Biological Motion 知覺



Biological Motion 刺激で 賦活する脳部位 (fMRI)



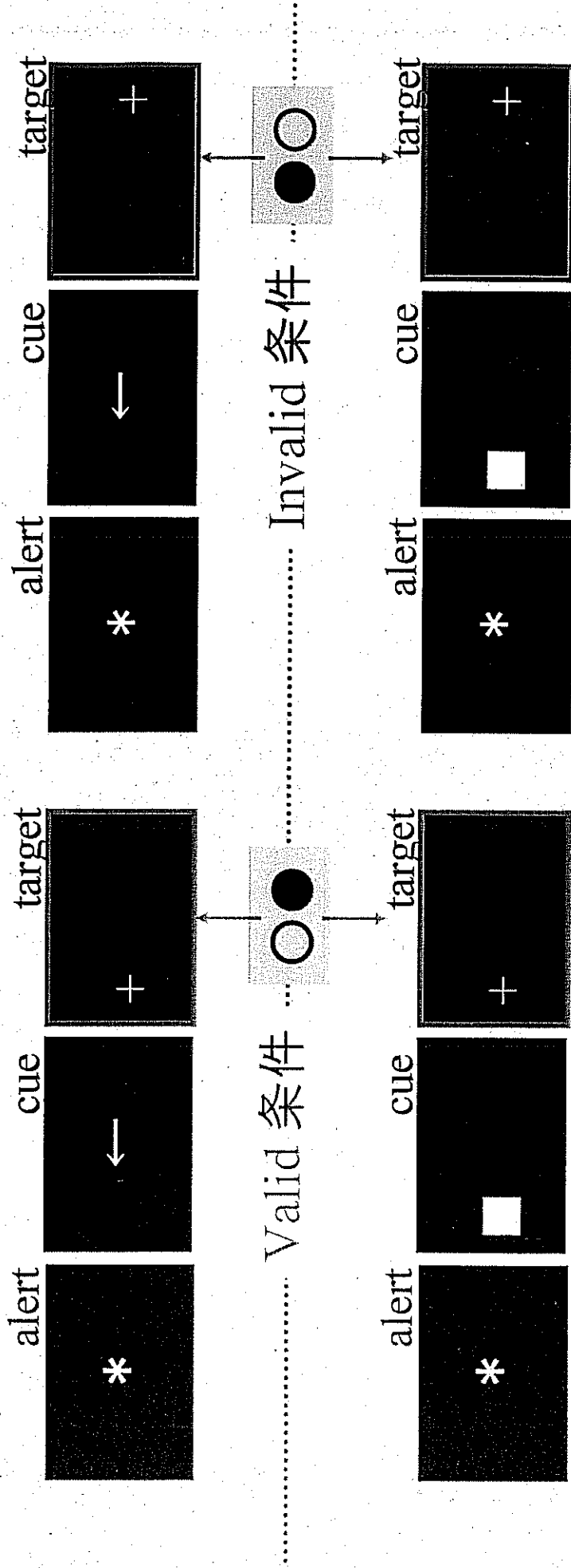
本児



健常児

注意の転換を検証する 手がかり呈示課題 (Posner 課題) とは？

中心手がかり課題：能動的



周辺手がかり課題：受動的

e-ラーニングを核とする
多様な学習困難に対応した
地域単位の学習支援ネットワークの構築

京都大学 霊長類研究所
正高信男

京都大学 こころの未来研究センター
久保(川合)南海子 河合俊雄

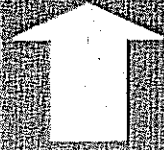
学習困難児とは

聞く、話す、読む、書く、計算する、理解する、注意する、
計画する、記憶する、推論する、コミュニケーション……

などについて困難がある

学習障害、注意欠陥/多動性障害、
自閉症などの発達障害に起因する

- 現在、学習障害、注意欠陥/多動性障害、高機能自閉症を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、約6%の割合で通常の学級に在籍している(文部科学省「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の全国実態調査」結果より)



30人学級では1～2人

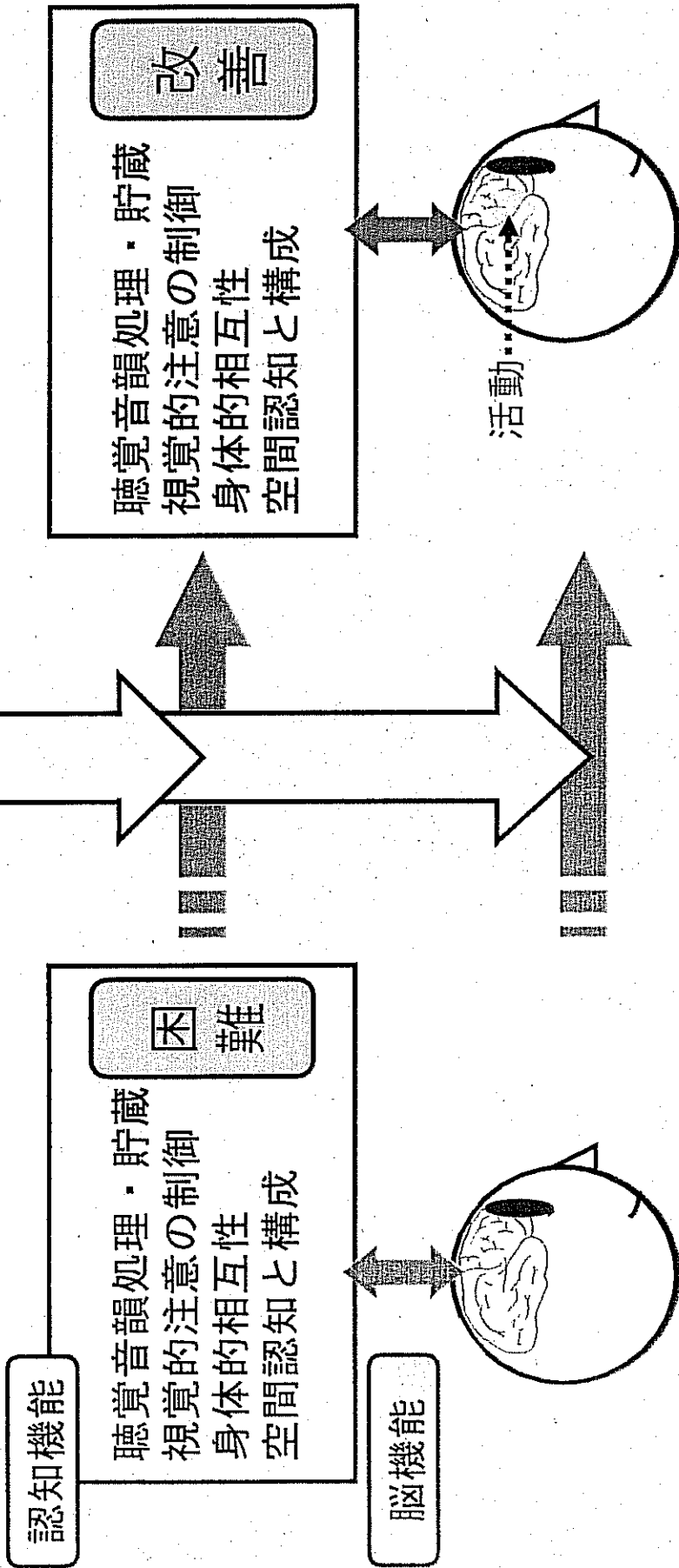
学習困難児の教育支援プログラムと 脳内機序

～経過と今後の計画～

Support Program for Children with Learning
Difficulty and the Effect on Brain
Activity: progress and proposal

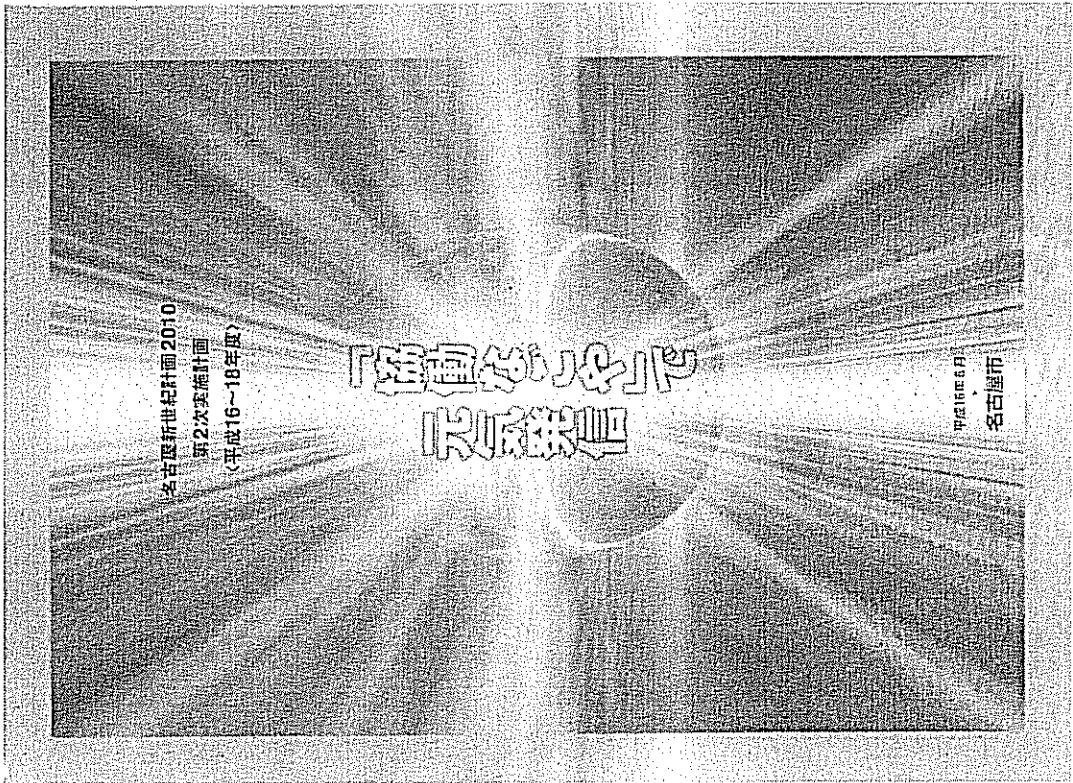
Intervention

- ・ 聞く : 加工音声を聞いた段階的指導
- ・ 読む : 文字・単語・文章の構成指導
- ・ 書く : 字の分解と合成指導 / 運動の流暢性指導
- ・ 理解 : 聞き取り・読みの流暢性指導
- ・ 計算 : 視覚マッピング / 言語媒介指導



Before Teaching

After Teaching



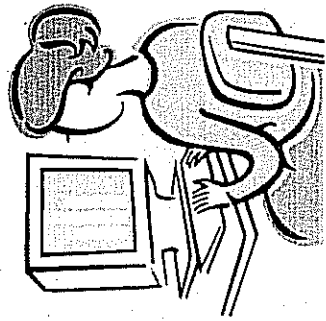
名古屋新世紀計画 2010
第2次実施計画
(平成16~18年度)

「機軸」 「新世紀」

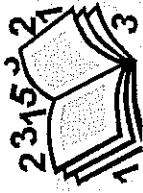
平成16年6月
名古屋市

行政

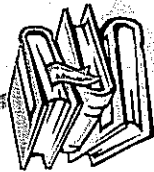
エキスパート



カリキュラム

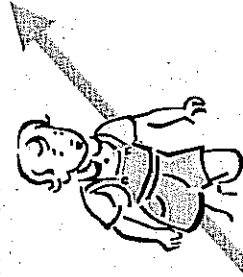
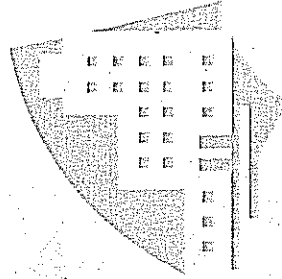


教材



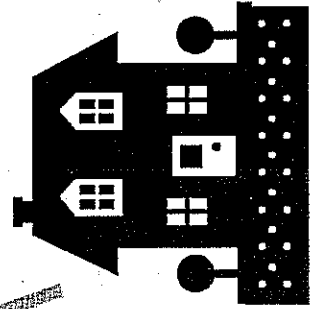
回答

学校・療育センター



通園・通学

家庭



地域ネットワークへ

